

# リスク一覧

## 直接操業（国内製造拠点）のリスク評価結果

大：優先度高、中：優先度中、小：優先度低

リスク分類	リスク内容	自然との関連性	財務影響	評価		主要な対応策
				TNFD#1	TNFD#3	
物理リスク	急性 1. 化学物質の流出による環境汚染リスク	製造：有害化学物質の偶発的流出	損害賠償・復旧費用、操業停止	大	大	<ul style="list-style-type: none"> <li>レスポンス・ケアおよび ISO14001 による環境アセスメント・リスク評価の実施</li> <li>環境法令・条例・地域協定の遵守、化学物質管理体制の徹底</li> <li>地域自治体・消防等との連携体制の維持</li> <li>設備の定期点検、老朽化設備の更新、安全装置の多重化（タンクに漏洩防止のための防油堤、排水設備（ピット等）で止水）</li> <li>事故発生時の初動対応、関係機関への通報体制、封じ込め手順の明確化</li> <li>訓練・演習：従業員への教育、定期的な防災訓練の実施（年1回以上）</li> <li>地域自治体・消防・環境当局との連携体制構築</li> </ul>
	慢性 2. 製造拠点における水資源依存リスク	製造：水使用・排水依存	水処理・代替水源コスト増	大	大	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の水使用削減施策の継続・強化（生産効率化、節水・リサイクル）</li> <li>環境法令・条例の遵守、法定基準より厳しい自主管理値の維持</li> <li>地域の水資源保全活動への貢献（事業所周辺水路の定期清掃）</li> <li>製造拠点の水リスク評価の定期実施</li> </ul>
移行リスク	3. 排水に関する規制リスク	製造：排水による水質への影響	排水処理設備投資・運用コスト、規制対応コスト	中	大	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水処理設備の適切な運用・管理</li> <li>環境法令・条例の遵守、法定基準より厳しい自主管理値の維持</li> <li>地域の水資源保全活動への貢献（事業所周辺水路の定期清掃）</li> </ul>
	規制 4. 化学物質規制強化による事業制約リスク	製造：化学物質使用・境放出	ESG 評価悪化、設備コスト、規制対応コスト	大	大	<ul style="list-style-type: none"> <li>レスポンス・ケアおよび ISO14001 による環境アセスメントの実施</li> <li>環境法令・条例の遵守、化学物質管理体制の継続的改善</li> <li>環境調和型製品の研究開発継続および市場展開強化</li> <li>現地生産によるサプライチェーン最適化（輸送由来 CO<sub>2</sub>削減）</li> <li>再生可能エネルギーの導入拡大（太陽光発電など）</li> <li>国内外の化学物質規制（REACH、PRTR、化審法等）の動向の継続的モニタリングと変更に対する早期対応体制の整備</li> <li>化学物質の製造、輸送、廃棄物のライフサイクル全体にわたるコンプライアンス活動の推進（レスポンス・ケア推進委員会による啓発・推進）</li> </ul>
	5. 廃棄物処理規制強化とサーキュラーエコノミー対応リスク	製造：廃棄物・包装材による環境負荷	廃棄物処理コスト増、包装材変更コスト	大	中	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物削減・ゼロエミッション活動の推進</li> <li>製品規格変更によるプラスチック使用量削減</li> <li>再生プラスチック等のグリーン購入推進</li> <li>ISO14001 に基づく廃棄物管理目標の設定・モニタリング</li> </ul>

## 下流（農業現場）のリスク評価結果

リスク分類	リスク内容	自然との関連性	財務影響	評価		主要な対応策	
				TNFD#1	TNFD#3		
物理リスク	急性 6. 自然災害時の農業漏出による複合リスク	下流：生態系への急性影響	損害賠償・復旧費用、評判リスク	中	中	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業取締法に基づく使用基準の遵守促進</li> <li>製品ラベル・添付文書における適正保管・取扱いに関する注意喚起の徹底</li> <li>農業の適正保管・廃棄に関する情報提供・啓発活動</li> </ul>	
	慢性	7. 気候変動による農業需要減少リスク	下流：気候変動による農業環境変化	製品需要減少、市場構造変化	中	大	<ul style="list-style-type: none"> <li>IPM（総合防除）推進に対応した環境調和型製品の研究開発、普及拡大</li> <li>バイオスティミュラントの研究開発、普及拡大</li> <li>スマート農業・節水農業対応など精密農業対応製品の開発、普及拡大</li> <li>デジタル技術を活用した農業ソリューション（AIによる病害虫発生予測など）の展開</li> </ul>
		8. 水資源制約による農業需要減少リスク	下流：水資源制約による農業への影響	製品需要減少、市場縮小	大	大	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水型技術（少量散布対応製剤）の開発、登録推進</li> <li>精密農業（スポット散布・局所施用）対応製品の登録推進</li> <li>乾燥地域・水資源制約地域向け製品の市場開拓</li> </ul>
		9. 病害虫発生パターン変化による製品需要変動リスク	下流：気候変動による病害虫発生の不確実性	製品需要の予測困難、在庫リスク	中	大	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動に対応した農業（対候性、持続性）の研究開発、普及拡大</li> <li>現地解析も含めた発生パターンの変化に応じた防除技術の提供（散布効率化等）</li> <li>国内外の規制動向モニタリングと対応</li> </ul>
		10. 局所気候変動によるスペシャリティクロープ品質劣化リスク	下流：スペシャリティクロープの品質低下	スペシャリティクロープ向け資材の需要変動	大	大	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動に対応した作物保護資材の研究開発、普及拡大</li> </ul>
移行リスク	規制 11. 農業使用量増加による環境流出、残留規制強化リスク	下流：使用段階での適正施用が社会要請	規制対応コスト、上市遅延リスク	大	大	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の適正使用に関する情報提供・啓発活動の実施</li> <li>環境調和型製品の継続的な研究開発、普及拡大</li> </ul>	